



2005年12月11日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行
インターネットでも
ご覧いただけます。

ジャスコ 来年4月 閉店

磯原の駅西地区の核となっていた「ジャスコ北茨城店」が来春4月で閉店されることが決まりました。市内ではすでに大津地区で「カスミストア」が撤退したほか、近隣でも「ヨーカドー高萩店」、日立の「伊勢甚ジャスコ」が相次いで撤退するなど、県北一帯での商業の停滞に拍車をかけるのではと懸念が広がっています。

「ジャスコ北茨城店」は従業員が約130名で大半がパート従業員で、今後の再就職はかなり厳しいとの声が上がっています。撤退



市内駅伝大会

(12月4日、華川町下小津田付近)



の原因は、当初に比べての売上減や中郷地域への集積型大型店の出店による客足の流れの変化等々が影響し

ているとみられています。ある飲食店経営者は「人通りが減るだろうから、営業への影響は小さくない」と不安を語っています。また、ある市民は「やっと磯原駅西の区画整理も完成したのに、その核となってきたジャスコの撤退は、街の衰退を象徴するようでさびしい気がする。市としてもジャスコに代わる商店が入居して開店できるよう働きかけるべきではないか」と話しています。

男女共同参画 推進事業 ひとひと 女と男いきいき ステップアップ講座

12月4日、市民ふれあいセンターで、公開講座「集まろう！語ろう！in北茨城」が開催されました。参加170名を前に、漫才師の林家カレイ子氏が基

調講演。ひきつづき同氏をコーディネーターに、市民10人が「男の言い分・女の言い分ホンネで語りましょう」とパネルディスカッション。公民館活動に取り



ふれあいセンターで

組む市民や、農業・漁業の現役、子育て真っ最中、さらに大学生、中学生も登場し、幅広い意見が交わされました。

市議会の 一般質問 は12日(月)

いま開会中の12月議会。一般質問は12日(月曜)におこなわれます。日本共産党市議団は、市立病院問題、大型店の撤退、保健事業、米国産牛と給食などについて質問します。

貴重な自然 として観光資源 亀谷地湿原の維持再生へ

75名が参加して
第1回現地作業



NPO法人「亀谷地湿原自然維持再生協議会」が呼びかけて、12月4日に第1回の現地作業がおこなわれました。ボランティアは市外からの参加もふくめ75名。破損した木道を撤去し、灌木を伐採しました。